

DIGITABLE 第 40 回勉強会レポート

2010 年 11 月 20 日 於：森下文化センター 第一研修室



「撮影メニューについて」：井村 正会員
「東欧写真紀行」— 九月の東欧路から — ：永富雪子 正会員
参加者全員による “ライトニングトーク”
Photoshop 研究講座 「コンピューターの扱う単位」：平野正志 講師
Dignitable 基礎講座 「プロが教える調整レイヤーの裏ワザ」：高木大輔講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

「撮影メニューについて」：井村 正会員

撮影、加工のサービスを行っている井村会員から、「撮影メニューについて」の報告があった。メニューの詳細については略すが、ユーザーのニーズに合わせたメニューの開発、常に検索効果も考えたホームページの制作について、興味深い解説が行われた。

ホームページでは視覚効果も考え、ユーザーの印象を決定づけるロゴなどについては手間暇を惜しまず作り込んでいく手順なども公開され、会員の興味を引いていた。



井村会員の発表の様相

「東欧写真紀行」 — 九月の東欧路から — ：永富雪子 正会員

9月中旬、秋が訪れ始めた涼しい東ヨーロッパ、チェコ・オーストリア・ハンガリーの中欧3カ国の旅に出かけた。ツアーではあったが、行く先々の都市で世界遺産に指定された歴史的地区の自然と調和した重厚で美しい景色を沢山見ることができた。

行程は、日本→(ロンドン経由)→チェコ・プラハ→チェコ・チェスキー・クルムロフ→オーストリア・ザルツブルク→オーストリア・ザルツカンマーク→オーストリア・ウィーン→ハンガリー・ブダペスト→(ロンドン経由)→日本である。

発表では数多くの写真が、旅行の行程順に発表された。見る者へのサービスが感じられる写真と解説に笑いも絶えない。旅の記録的なスナップ写真とはいえ、数多く作品を発表してきた永富会員ならではの、視点が感じられて楽しい発表となった。

(コメントや意見の追加をお願いします)



永富雪子会員



参加者全員による “ライトニングトーク”

(持ち時間 5 分のショートトーク)

今月もいくつかの要旨をピックアップする。

次月の撮影会でもモデル担当となる Y 氏からは、モデルさがしのサイト Model Mayhem の紹介。

KS 氏は先月のスペイン旅行で撮影された動画の紹介。

ソニー眼レフでハイビジョンサイズで撮影された動画は美しく、高精細な TV モニターでも遜色ないようだ。旅行中は 8GB と 16GB メディアを持参したそうだが、「これで充分」とのこと。

KY 氏は品川区の街道祭りでの記録的なスナップをスライドショーで披露。火渡りではお湯を浴びた行者の荒行に続き、一般客の体験の姿も。同氏は今後もしばらく地元の行事の記録を中心としたスナップを続けて行くとのこと。

HK 氏からはちょっと珍しい映画の話題。

IS 氏は先月に引き続き東京スカイツリーの話題。

久々参加の TM 君はビューカメラを利用したシフト撮影の原理の紹介だが、これはこの一年、両講師からもいろいろ発表されていた。またカメラマンとして新たなチャレンジを目指しているとのこと。

ST 氏は美しい棚田の写真。カメラによる撮り比べも話していただいた。

二が月に亘る欧州旅行で、先月先々月と現地からのスナップレポートを寄せてくれた AY 氏は、作品のさわりをセピア調のプリントで見せてくれた。トーンを抑えた表現が静かな雰囲気を出している。同氏は引き続き 1 月の勉強会で作品を発表してくれる予定。

I 氏は青森～新潟と日本海を南下する 5 日間の旅の写真を披露。

初参加の K 氏は、富士山をテーマに取り組んでいるそうで、日帰りの撮影行もしばしばとのこと。

YA 氏はこの春誕生した娘さんたちにまつわる写真を披露。今後は奥様を含めた家族記録とした作品作りも行っていきたいとのこと。

IK 氏は修善寺や都内でのスナップや紅葉の写真等。

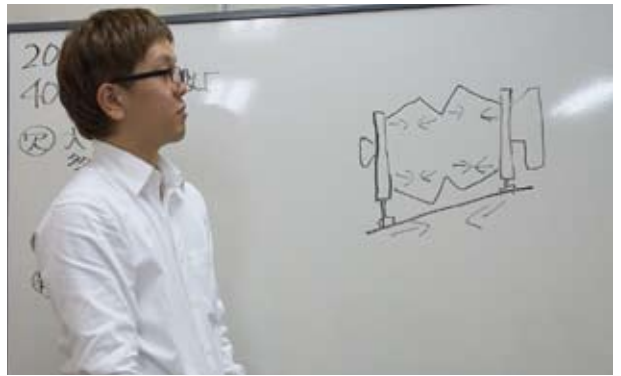
KS 氏は下町京島付近の写真散策をモノクロで表現。

ST 氏は秋田を中心とした北東北の旅の写真。乳頭温泉や鉄道にまつわる話も。

KT 氏は CanonS90 と Nikon D300 の撮り比べなど。「月の光でも写る S90 は素晴らしい」とのこと。

… 等々である。

(コメントや意見の追加をお願いします)



今回は 40 回目の記念勉強会として会員発表を多く取り入れたためもあり、両講師の授業は短縮版である。

Photoshop 研究講座 平野正志 講師

「コンピューターの扱う単位 他」

平野講師からは、コンピューターの扱うさいの基本的なデータ量と単位について。普段おろそかになりがちな基本知識の復習である。

コンピューターの扱う単位

1 ビット = 0 か 1 2 通りの情報を表現できる

1 バイト = 8 ビット 2⁵⁶ 通りの情報を表現できる

キロバイト KB... 2¹⁰ 乗 1024 バイト = 1 キロバイト

メガバイト MB... 1024 KB = 1 メガバイト

ギガバイト GB... 1024 MB = 1 ギガバイト

テラバイト TB... 1024 GB = 1 テラバイト

ペタバイト PB... 1024 TB = 1 ペタバイト

ピクセル (画素) と情報量の関係

画像をデジタル情報として表現するには 1 ピクセル (画素) に 1 バイトの情報を当てはめる。一つのピクセルが 256 の諧調の明るさを表現できることになる。(モノクロ画像の場合の明暗)

カラーの場合は 1 ピクセル 0 から 255 まで各 RGB で諧調を数値で表現するため 3 バイトが必要となる。

各画素の RGB のそれぞれの明るさの情報を表わす必要があり 3 つの数値が 3 バイトで表現されるが、 $8 \times 3 = 24$ ビット、2²⁴ 乗となり約 1677 万色を表現するという訳だ。

パソコン画像処理入門⑤ 高木大輔 講師

プロが教える調整レイヤーの裏ワザ

同氏は毎日のように商品撮影を行っているが、商品写真に求められるのは、一般に“キレイな写真”であるが、必ずしも理想的な写真の条件になるとは限らない。かくてほぼ毎日調整に明け暮れることになる。RAW 撮影で現像時に加える調整ではまだ何か足りない————。

との前置きで、記念勉強会の参加者への特典に?、現場のプロとしての奥義ともいべき調整テクニックを披露してくれた。ネット上で開設することは出来ないが、作例の一部から、プロのテクニックを感じてほしい。

(コメントや意見の追加をお願いします)

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME)

<http://www.digitable.info>



今月の 1 枚：高木講師による、実際の仕事上での画像補正テクニックの紹介。クライアントの関係で大きく掲載することは出来ないが、違いが分かるだろうか…?



平野正志講師



1ピクセル 0から255まで各RGBで諧調を数値で表現するため、3バイトが必要。

ピクセル (画素) と情報量の関係

画像をデジタル情報として表現するには 1 ピクセル (画素) に 1 バイトの情報を当てはめる。一つのピクセルが 256 諧調の明るさを表現できることになる (モノクロ画像、明暗)



高木講師による画像補正の一例

上のような補正は調整レイヤーを使って、ほんの 1 アクションである。下の画像雨天から晴天に補正しているのが、少し手が混んでいるが、それでも数分の作業である

